

横井時雄 トキヲ 牧師、政治家。安政四年肥後國生れ、昭和二年九月十
二日歿（八七一・一九七）。號閑々學人、別名伊勢時雄、Tokiwō Yokoi。
熊本藩中横井山楠の長男。熊本洋學校、同志社英學校の學ぶ。牧師と
なり、今治教會を設け、同志社教員、本郷教會牧師を経て、明治二十年
同志社社長。二十四年衆議院議員、四十一年再選と、翌年白糖禁獄の
辭職。大正八年パリ講和會議に出席。また姉崎嘲風等と雜誌『時代思
潮』を創刊した他、『東京日日新聞』主幹を務めた。

著譯書『山楠遺稿』（編、明治二十一年十一月、千五百自刊、民友社）、
『基督教新論』（昭和二十四年十一月十七日警醒社書店）、『ナイン
』（ナインシヤル）著、『大教教と聖書』（譯、明治二十五年十一月七日
警醒社書店）、『先賢詞藻』（合著・進藤信義編、明治二十四年十月
十一日大鐘美會本店・鐘美會支店）、『歐洲近世史論』（明治四十
二年十月二十八日警醒社書店）、『約翰傳集註』横井時雄文集・第一
卷』（昭和二年九月十日アルパ社書店）等。

文獻、卜部幾太郎編『故横井時雄君追悼演說集』（昭和二年六月一日
アルパ社書店）等。